

# Foundation Profile

財団案内



公益財団法人

川野小児医学奨学財団

設立の動機

私は1982(昭和57)年の秋に、当時小学校2年生だった長男の「正登」を、ウイルス性脳炎という病気で亡くしました。いまもって信じられないほど、あっという間の出来事でした。それまでの私は、仕事のことしか頭にありませんでしたから、家族との生活の場は相当おろそかになっていたと思います。正登が亡くなって、「あの子は、お父さんを求めている」と妻から聞かされ愕然としました。そして、人の親としてあの子に何もしてやれなかったことを、つくづく悔やみましたが、後悔は先に立ちません。今だに正登には、本当に申し訳ないことをしてしまったと心で詫びている毎日です。このような出来事が背景にあって、この川野小児医学奨学財団が設立されました。申すまでもなく、子どもたちの無邪気な笑顔や素直な動作が世の中を明るくし、私たち大人の心を和ませてくれます。また、わが国や世界の将来を担ってくれるのも同じ子どもたちです。そのかけがえのない大切な子どもたちが、明るく健やかに成長してくれることは、親だけでなく等しくみんなの願いです。生活水準の向上、医学・医療の進歩と共に、子どもたちの健康も増進されましたが、時には「正登」のようなことも起こります。このような不幸な子どもを少しでもなくすことが当財団の大きな目的です。関係各位のご協力を仰ぎながら、一年一年と実績を積み重ねてまいります。皆さま方のあたたかいご指導とご支援を、よろしくお願い致します。



公益財団法人 川野小児医学奨学財団  
理事長 川野 幸夫

ロゴマーク

当財団のロゴマークは、理事長の長男が亡くなった時に流れたであろう涙の滴の形をベースとしています。同時に、その時から当財団が抱き続けている「小児医学に関わる多様な人々の支えにより、多くの子どもの明るく健やかな成長を実現したい」という想いをハートと点で表しています。



沿革

1989(平成元)年	埼玉県認可を受け、財団法人川野小児医学奨学財団を設立
1990(平成2)年	研究助成および奨学金貸与事業を開始
1992(平成4)年	医学会助成事業を開始
1995(平成7)年	小児医療施設支援事業を開始
1999(平成11)年	財団設立10周年を記念して、小児医学川野賞を創設
2001(平成13)年	特定公益増進法人に認定
2007(平成19)年	研究助成事業に若手枠(40歳以下)を追加
2010(平成22)年	奨学金給付事業を開始
2012(平成24)年	公益財団法人に移行
2019(令和元)年	行政庁を埼玉県から内閣府に変更 財団設立30周年を記念して、ドクターによる養護教諭のための出前セミナー事業を開始
2021(令和3)年	奨学金給付事業の対象に千葉県内高校卒業者を追加 ドクターによる出前セミナー事業の対象に就学前教育・保育施設の看護職を追加

活動目的

小児医学研究者に対する助成・表彰、および小児医学を志す医学生に対する奨学金給付、ならびに小児保健に関わる人々に対する啓発活動を行うことで、小児医学・医療・保健の向上・発展に役立つことを目的としています。

主な事業内容

1. 小児医学研究者に対する事業



研究助成



小児医学川野賞



医学会助成

2. 小児医学を志す学生に対する事業



奨学金給付

3. 小児医療施設に対する事業



小児医療施設支援

4. 小児保健に関わる人々に対する事業



ドクターによる出前セミナー

## 1. 小児医学研究者に対する事業

### 研究助成

小児疾患の原因究明・診断・治療・予防等に関する研究の発展を支援するため、小児医学研究者に対して助成金の交付を行っています。助成の対象は幅広く、疾病の基本原則について理解を深めるための基礎医学的研究から、疾患の診断・治療・予防・疫学に関わる臨床および社会医学的研究まで含んでいます。

2007(平成19)年には、若手研究者の活躍を後押しするために40歳以下の研究者を対象とする若手枠も設けました。現在、一般枠は一人300万円、若手枠は一人100万円を上限として、助成金を交付しています。これまで助成を受けた多くの研究者が、それぞれの分野において活躍しています。



### 小児医学川野賞

この賞は、財団設立10周年を記念して、1999(平成11)年に創設されました。小児医学の発展に重要となる研究活動を奨励するため、優れた業績を上げ学術の進歩に貢献し、今後も活躍が期待される小児医学研究者を表彰しています。受賞者には賞状、賞金100万円とトロフィーが贈呈されます。2019(令和元)年からは対象分野を広げ、基礎医学・臨床医学・社会医学の3分野にて受付をしています。



### 医学会助成

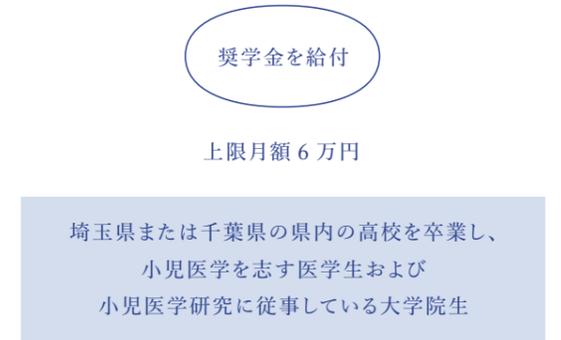
小児医学研究の進歩を支援するため、小児医学に関連する研究についての発表や意見交換等を行う医学会の開催に対して、1件50万円を上限として助成金の交付を行っています。



## 2. 小児医学を志す学生に対する事業

### 奨学金給付

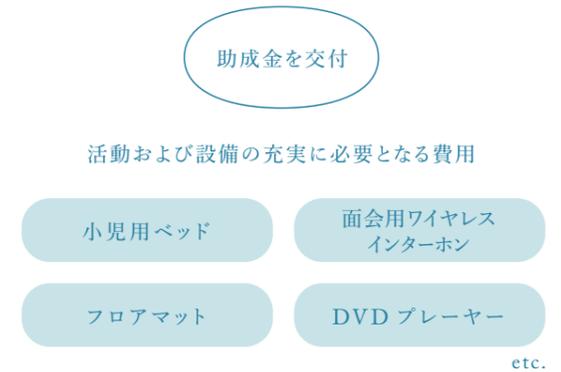
小児医学界における将来の担い手の育成や輩出を支援するため、小児医学を志す医学生および小児医学研究に従事している大学院生に対して奨学金の給付を行っています。2021(令和3)年度からは埼玉県内の高校卒業生に加え、千葉県内の高校卒業生も対象としています。月額6万円を上限として、正規の最短修業年限以内において給付をします。また、奨学生は毎年3月に行われる助成研究成果発表会、小児医学川野賞贈呈式にも参加でき、実際に活躍をしている小児医学研究者から直接学ぶこともできます。



## 3. 小児医療施設に対する事業

### 小児医療施設支援

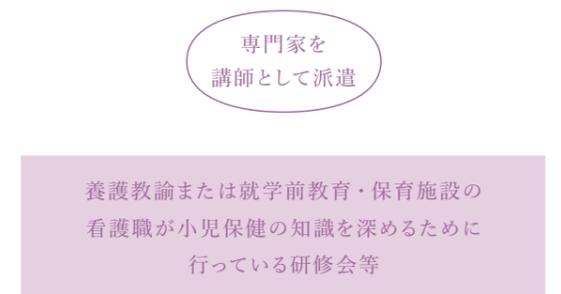
医療施設に入院している小児患者のQOL(生活の質)を向上させることは重要な課題の一つです。それを実現するための活動および設備の充実に必要となる費用に対して、主に埼玉県内にある医療施設を対象として助成金の交付を行っています。



## 4. 小児保健に関わる人々に対する事業

### ドクターによる出前セミナー

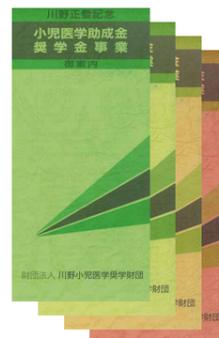
子どもたちの命や健康を守るために、学校等において適切な対応や高度な知識がますます求められるようになってきていることを背景に、本事業は財団設立30周年を記念して2019(令和元)年度にスタートしました。2021(令和3)年度からは、養護教諭に加え、就学前教育・保育施設の看護職従事者も対象とし、養護教諭や看護職従事者がその専門性を高めるために行っている研修会等に対して、当財団が仲介役となり、小児科医を中心とした専門家を講師として派遣しています。



### 事務局長挨拶

当財団は、1982(昭和57)年に当時8歳であった長男を急病で亡くした理事長 川野幸夫が私財を投じ、1989(平成元)年に埼玉県  
の認可を受けて設立され、2012(平成24)年には公益財団法人に移行  
をしました。さらに、より多くの子どもたちの役に立ちたいという想  
いから、財団設立30周年という節目を機に、2019(令和元)年に行政  
庁を内閣府に変更し、新しい事業も開始しました。

これまでご寄附いただきました皆さまのおかげもあり、小児医学界  
において、当財団の活動は徐々にご評価を頂けるようになりました。  
そして、子どもたちを取り巻く環境が大きく変化し、小児医学研究者が  
取り組むべき課題の幅が広がり続けている中、当財団への関心と期待は年々大きくなってきてい  
ます。当財団へのご寄附は、小児医学研究者が様々な課題に十分に組み立てる環境作りを支援  
すると共に、小児医学における将来の担い手を育成・輩出する手助けになるものと強く確信して  
います。小児医学・医療・保健の発展により、元気な子どもたちを増やしたい、という当財団の  
想いにご賛同いただき、お力添えいただければ誠にありがとうございます。



歴代パンフレット

公益財団法人 川野小児医学奨学財団  
事務局長 川野 紘子

### ご寄附の流れ

1

当財団ウェブサイトより寄附金申込書をダウンロードいただき、必要事項をご記入の上、  
メール添付(PDF)・ご郵送・Faxのいずれかにて以下までお送りください

メール添付(PDF)の方: info@kawanozaidan.or.jp  
郵送の方: 〒350-1124 埼玉県川越市新宿町1-10-1 公益財団法人 川野小児医学奨学財団 事務局宛  
Faxの方: 049-246-7006

2

銀行等よりご寄附をお振込みください

3

当財団にてご寄附のお振込を確認後、受領証明書・寄附控除のご案内をお送りいたします

#### 寄附金にかかる税制上の優遇措置

当財団にご寄附いただいた方は税金の控除等、優遇措置が受けられます

個人の場合: ご寄附をされた翌年の確定申告時に当財団発行の受領証明書を添付し、所轄の税務署等に  
ご申告ください

法人の場合: ご寄附をされた当該事業年度の税務申告の際に損金算入手続きを行ってください

### 構成役員

[理事]

理事長  
川野 幸夫  
株式会社ヤオコー / 代表取締役会長

川野 光世  
株式会社川野商事 / 代表取締役

吉野 芳夫  
伊藤忠商事株式会社 / 理事

新井 一  
順天堂大学 / 学長

桃井 眞里子  
自治医科大学 / 名誉教授

上池 昌伸  
株式会社ヤオコー / 常務取締役

[監事]

杉田 圭三  
株式会社 CWM 総合経営研究所 / 取締役会長

原 敏成  
武州瓦斯株式会社 / 代表取締役社長

[評議員]

川野 清巳  
株式会社ヤオコー / 相談役

川野 澄人  
株式会社ヤオコー / 代表取締役社長

利根 忠博  
株式会社埼玉りそな銀行 / 元会長・社長

村井 満  
公益社団法人日本プロサッカーリーグ / チェアマン

高篠 包  
高篠・柿沼法律事務所 / 弁護士

豊田 友康  
株式会社メディパルホールディングス / 監査役

※ 敬称略・順不同

[選考委員]

雨宮 伸  
埼玉県社会福祉事業団嵐山郷 / 参与

岡 明  
埼玉県立小児医療センター / 病院長

奥山 眞紀子  
社会福祉法人子どもの虐待防止センター / 理事

● 梶島 香代  
文京学院大学人間学部 / 学部長

河野 陽一  
独立行政法人労働者健康安全機構千葉ろっさい病院  
名誉院長

坂本 穆彦  
大森赤十字病院 / 顧問

城 宏輔  
医療法人すずき小児科 / 院長

野々山 恵章  
防衛医科大学校小児科学講座 / 教授

林 泰秀  
上武大学 / 副学長

桃井 眞里子  
自治医科大学 / 名誉教授

山縣 然太郎  
山梨大学大学院総合研究部医学域社会医学講座 / 教授

● 山崎 章子  
埼玉県立浦和高等学校 / 養護教諭  
埼玉県養護教諭会 / 会長

山城 雄一郎  
順天堂大学大学院プロバイオティクス研究講座 / 特任教授

※ 敬称略・五十音順  
※ ● はドクターによる出前セミナー事業の選考委員

2021年6月17日現在

### 所在地

〒350-1124 埼玉県川越市新宿町1-10-1  
Tel: 049-247-1717 Fax: 049-246-7006  
Mail: info@kawanozaidan.or.jp





〒350-1124

埼玉県川越市新宿町 1-10-1

Tel: 049-247-1717

Fax: 049-246-7006

Mail: [info@kawanozaidan.or.jp](mailto:info@kawanozaidan.or.jp)

Url: [www.kawanozaidan.or.jp](http://www.kawanozaidan.or.jp)

Facebook: <https://fb.com/KawanoZaidan>